

和歌山県立医科大学整形外科後期研修プログラムについて

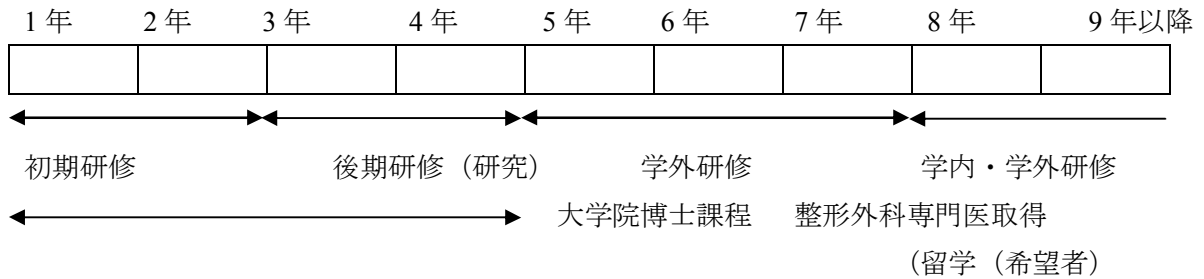
研修指導責任者：吉田宗人

和歌山県立医科大学整形外科（以下、当科）では、2年間の初期研修を修了された方がさらなる整形外科の研鑽を積んで整形外科専門医となるため、各先生に合った4年間の後期研修プログラムを考えています（注1）。整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師です。整形外科専門医取得に日本整形外科学会に入会し、整形外科学会所属4年、医師として6年間の研修が必要です。この4年間は症例数豊富な当科関連施設（注2）をローテートします。4年間で骨折・外傷50例、人工関節手術20例、脊椎手術20例、関節鏡視下手術20例、小児整形外科疾患10例、骨軟部腫瘍10例などを主治医として治療し、手術の執刀を行うことを到達目標とします。施設によりますが、研修して頂く各関連施設では年間平均600件以上の手術を行っており、整形外科の売り上げは全科の中でトップであります。

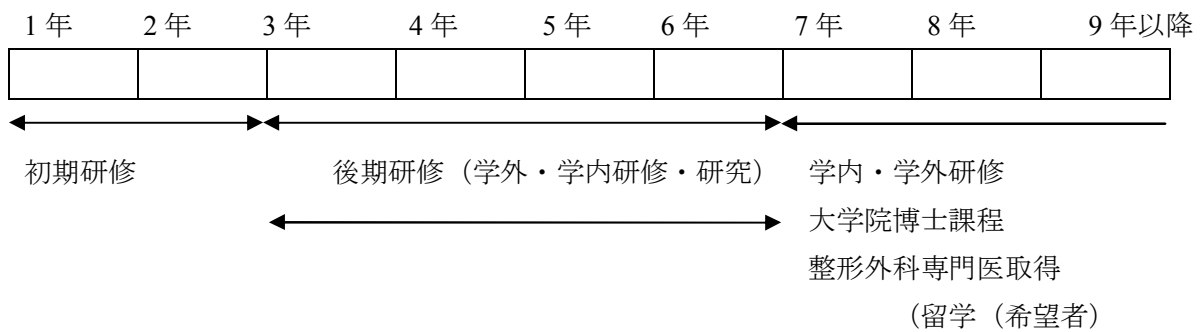
後期研修を修了された方には、さらに整形外科の中の **subspecialty** を研鑽する機会が与えられます。脊椎脊髄外科、関節外科、手の外科、骨・軟部腫瘍、小児整形、スポーツ医学などの亜専門分野での専門医を目指した診療に携わっていきます。特に当教室では、脊椎脊髄指導医が17名、脊椎内視鏡下手術技術認定医が8名の資格を有し、全国に先駆けて脊椎低侵襲手術に取り組んでおり、当教室のひとつの特徴でもあります。全国各地から多くの患者さんが当診療を訪れる一方で、全国から多くの脊椎脊髄外科医も当教室への短期留学を希望されています。

学問として、研究するための博士課程大学院への進学が可能であるほか、手術手技を含む治療技術を学ぶために各分野における国内トップクラスの施設に留学することが可能です。大学院では、運動機疾患の病態解明のために地域住民健診からのコホート研究、先端医療技術の開発、脊髄内痛覚伝達機序の解明などの疼痛関連研究、脊髄機能モニタリングに関する研究などのテーマを中心に、基礎・臨床的な面からのテーマを各自に与えます。指導教官の下で、大学院1、2年目は臨床的見地からの研究基盤を固め、3、4年で研究成果発表、研究討議会などを終了し、学位を取得します。大学院の他に学位取得は、学外研修中でも希望者にテーマを与え、週1-2回の大学研修での研究も可能であります。大学院は3つのコースを設けています。(1) 早期大学院コースでは、初期研修の時から大学院に所属しながら研修、研究を行う。大学院博士過程、学位取得後、臨床研修に専念し、多くの臨床経験を重ねる。(2) 初期研修後大学院コースでは、初期研修終了とともに基礎、臨床研究に専念し学位を取得する。その後、より多くの臨床経験がきるように学外研修を行う。(3) 社会人大学院コースでは、臨床研修を続けながら大学院に所属し、基礎、臨床研究を行う。

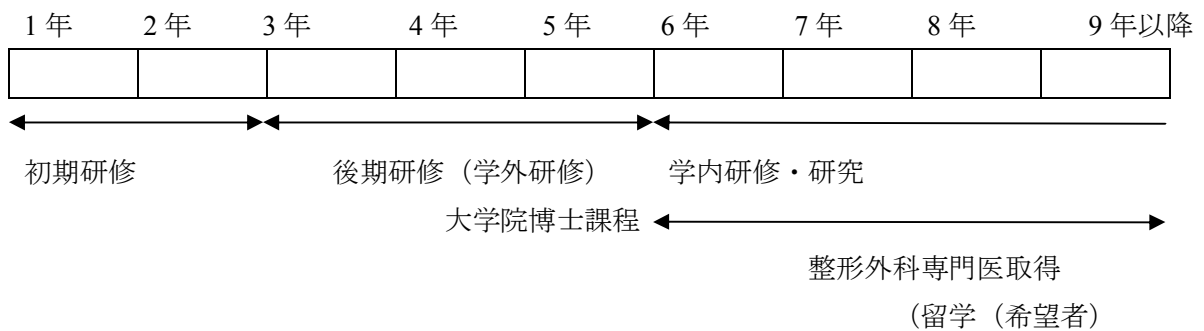
早期大学院コース



初期研修終了後大学院コース



社会人大学院コース



当教室は、海外の施設との交流も盛んでありますので、最近では、シンガポール大学、香港大学、米米国 Cleveland Clinic (ミシガン州) Dartmouth 大学 (ニューハンプシャー州)、Emory 大学 (ジョージア州)、Rady 子供病院(カリフォルニア州)などに留学生を派遣し、それぞれの施設で優れた研究実績を残しています。海外留学は、基礎、臨床への多面の視野を持ち、各個人がスキルアップできるように臨床研修、学位取得後に希望に応じて与えています。

卒後9年以降は、専攻分野の専門医・指導医取得(整形外科専門医取得者のみ取得可能)し、学内、学外の専門スタッフ、医長に就任します。また、学問・研究・学会活動などでの業績により大学教員として教育・研究・臨床に携わっていきます。

注1. 日本整形外科学会専門医の受験資格は学会入会后6年間の整形外科研修（2年間の卒後臨床研修期間を含む）です。つまり平成16年度から始まった新しい卒後臨床研修システムにおいても、卒後すぐに学会に入会しておけば、最短卒後7年目（和歌山県立医科大学整形外科後期研修プログラムの終了翌年）で専門医試験を受験することができます。日本整形外科学会では、卒後臨床研修期間中の先生のために研修会員という制度（研修会員年会費5000円、正会員年会費14000円）を設けています。最初の2年間は研修会員となり、その後退会の申し出がない場合は正会員へと移行する制度です。

注2. 当科の主要関連施設は次のとおりです。

【公立及び公的施設】

愛徳医療福祉センター、有田市立病院、海南市民病院、公立那賀病院、那智勝浦町立温泉病院、国保橋本市民病院、国保日高総合病院、国保野上厚生総合病院、済生会有田病院、済生会和歌山病院、社会保険紀南病院、新宮市立医療センター、南紀福祉センター附属病院、南和歌山医療センター、和歌山労災病院

【私立施設】

角谷整形外科病院

注3. 日本整形外科学会専門医で脊椎脊髄外科研修を志望するにもかかわらず、その臨床の機会の少ない先生に研修の機会を与えるために設立された制度です。

平成17年度は全国で42施設が認定されています。

注4. 脊椎脊髄外科を研修希望の日本脊椎脊髄病学会会員が、基本的には手術を含む手技を学ぶためのコースです。平成17年度全国で39施設が認定されています。

<整形外科見学について>

見学を希望される方は、下記にご連絡ください。

和歌山県立医科大学 整形外科学教室 医局長 南出 晃人

住所：〒641-8510 和歌山市紀三井寺 811-1

電話：073-441-0645

FAX：073-448-3008

E-mail：minamide@wakayama-med.ac.jp